

令和6年度病害虫発生予察予報第7号（令和6年10月）

令和6年10月4日  
高知県病害虫防除所

《予報の概要》

作物名	病害虫名	予想発生量※
カンキツ類 (温州ミカン)	そうか病 黒点病 ミカンハダニ カメムシ類	やや少(中央) <u>やや多(中央)</u> <u>多(中央)</u> <u>多(中央)</u>
カンキツ類 (中晩柑類)	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	やや少(県下全域) <u>多(東、中央)</u> 、 <u>平年並(中西)</u> 、やや少(西) <u>やや多(中央)</u> 、 <u>平年並(東、中西)</u> 、やや少(西) <u>多(東、中央、中西)</u> 、やや少(西) <u>多(県下全域)</u>
促成ナス	ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	<u>やや多(西)</u> 、やや少(東)、少(中央) <u>やや多(県下全域)</u>
野菜類	ハスモンヨトウ	<u>多(県下全域)</u>

- ※ ( )内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部  
 県東部：安芸市、室戸市および安芸郡の町村  
 県中央部：高知市、南国市、香美市、香南市、長岡郡・土佐郡の町村、  
 吾川郡いの町および高岡郡日高村  
 県中西部：土佐市、須崎市、高岡郡(日高村を除く)の町村および吾川郡仁淀川町  
 県西部：四万十市、宿毛市、土佐清水市および幡多郡の町村  
 なお、野菜は「土佐市」を中央部に入れています。

## I 気象予報(高松地方気象台10月3日発表)

10月5日から11月4日までの天候見通し

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。低気圧や秋雨前線、湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。週別の気温は、1、2週目は、高い確率80%です。3～4週目は、高い確率60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

期間	対象地域	要素	低い(少ない)		平年並	高い(多い)
1か月	四国地方	気温	10	10	80	
		降水量	20		40	40
		日照時間	40		40	20

<気温経過の各階級の確率(%)>

期間	対象地域	低い		平年並	高い
1週目	四国地方	10	10	80	
2週目		10	10	80	
3～4週目		10	30		60

<予報の対象期間>

1か月：10月5日(土)～11月4日(月)

1週目：10月5日(土)～10月11日(金)

2週目：10月12日(土)～10月18日(金)

3～4週目：10月19日(土)～11月1日(金)

## II 病虫害発生予想

### 1 カンキツ(温州ミカン)の病虫害

#### 1) そうか病

予 想 発生量：やや少(中央部)

#### 根 拠

- (1) 9月の調査では、発生面積は平年よりも少なく、発生程度は平年並であった。
- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並または多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

#### 対 策

- (1) 発生の多い園では黒点病の防除を兼ねて薬剤散布を行う。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

#### 2) 黒点病

**予 想** 発生量：やや多(中央部)

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、発生面積は平年並、発生程度は平年よりも低かった。
- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並または多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

**対 策**

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除以後の累積降雨量が250mm前後に達した時点で次の散布を行う。

### 3) ミカンハダニ

**予 想** 発生量：多(中央部)

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、発生面積は多く、発生程度は平年よりもやや低かった。
- (2) 10月の気温は高いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

**対 策**

- (1) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

### 4) カメムシ類

**予 想** 発生量：多(中央部)

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、ほ場での発生は見られなかったが、県内4地点に設置したフェロモントラップへの誘殺数は平年を大きく上回っている。

**対 策**

- (1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら防除する。台風などによる強風の後、園地に飛来することもあるので注意する。

## 2 カンキツ(中晩柑類)の病害虫

### 1) そうか病

**予 想** 発生量：やや少(県下全域)

**根 拠**

- (1) 9月の調査では発生は確認されなかったが、中央部の温州ミカンで発生が見られている。
- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並または多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

**対 策**

- (1) 発生の見られる園では黒点病の防除を兼ねて薬剤散布を行う。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

### 2) 黒点病

**予 想** 発生量：多(東部、中央部)、平年並(中西部)、やや少(西部)

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、県東部、中央部、中西部で発生が見られ、発生面積は東部、中央

部で平年よりも多く、中西部でやや少なかった。発生程度は発生程度はいずれの地域も平年以下であった。

- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並または多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

#### 対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除以後の累積降雨量が250mm前後に達した時点で次の散布を行う。

### 3) かいよう病

予 想 発生量：やや多(中央部)、平年並(東部、中西部)、やや少(西部)

#### 根 拠

- (1) 9月の調査では、県東部、中央部、中西部で発生が見られ、発生面積は中央部で平年並、東部、中西部でやや少なかった。発生程度はいずれの地域も平年以下であった。
- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並または多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。病原細菌は気孔や傷口から侵入、感染するので、台風の襲来後には更に増加し、発生が見られなかった地域でも発生が見られるようになると考えられる。

#### 対 策

- (1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病が見られる夏秋梢を剪定、除去する。

### 4) ミカンハダニ

予 想 発生量：多(東部、中央部、中西部)、やや少(西部)

#### 根 拠

- (1) 9月の調査では、県下全域で発生が見られ、発生面積は県東部、中央部、中西部で平年よりも多く、西部で少なかった。発生程度は東部で高く、中央部で平年よりもやや高く、中西部、西部では平年より低かった。
- (2) 10月の気温は高いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

#### 対 策

- (1) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

### 5) カメムシ類

予 想 発生量：多(県下全域)

#### 根 拠

- (1) 9月の調査では、ほ場での発生は見られなかったが、県内4地点に設置したフェロモントラップへの誘殺数は平年を大きく上回っている。

#### 対 策

- (1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら防除する。台風などによる強風の後、園地に飛来することもあるので注意する。

### 3 促成ナス

#### 1) ミナミキイロアザミウマ

**予 想** 発生量：やや多(西部)、やや少(東部)、少(中央部)

#### **根 拠**

- (1) 9月の調査では、県下全域で発生が見られ、発生面積は県西部で平年より多く、東部で平年並、中央部で平年よりも少なかった。発生程度は西部で平年より高く、東部、中央部で平年より低かった。
- (2) 10月の気温は高いと予想されていることから、発生は増加基調である。しかし、ほとんどのほ場でタバコカスミカメなどの天敵類が導入されており、天敵類の密度も高まると見込まれることから、発生は減少すると考えられる。

#### **対 策**

- (1) 防除効果が高い薬剤が少ないので天敵昆虫の利用を基本とし、開口部のネット被覆(1mm目以下)や他の防除方法も組み入れる。
- (2) 薬剤防除を行う場合、発生初期の防除を心がける。

#### 2) タバココナジラミ

**予 想** 発生量：やや多(県下全域)

#### **根 拠**

- (1) 9月の調査では、県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年よりも多かったが、発生程度は平年よりやや低かった。
- (2) 10月の気温は高いと予想されていることから、発生は増加基調である。しかし、ほとんどのほ場でタバコカスミカメなどの天敵類が導入されており、天敵類の密度も高まると見込まれることから、発生は減少すると考えられる。

#### **対 策**

- (1) 防除効果が高い薬剤が少ないので天敵昆虫の利用を基本とし、開口部のネット被覆(1mm目以下)や他の防除方法も組み入れる。
- (2) 本虫は主に新葉の葉裏に産卵するので、薬剤防除を実施する場合には生長点付近を中心に丁寧に散布する。

### 4 野菜類

#### 1) ハスモンヨトウ

**予 想** 発生量：多(県下全域)

#### **根 拠**

- (1) 9月のフェロモントラップへの誘殺数は、県東部で平年の約1.5倍、中央部で約1.3倍、中西部で約2.5倍、西部で約3.4倍といずれの地域も平年よりも多くなっている。
- (2) 10月の気温は高いと予想されていることから、発生が増加すると考えられる。

#### **対 策**

- (1) 卵塊を見つけ次第除去するとともに、幼虫を捕殺する。
- (2) 薬剤防除を行う場合、発生初期の防除を心がける。
- (3) 施設栽培では、開口部にネット被覆を行い成虫の侵入を防止する。交信かく乱剤の利用も効果的である。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ(こうち農業ネット) <https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>

- ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③病虫害発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病虫害 etc.

高知県農薬情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>

- ①農薬の検索
- ②農薬データの一覧
- ③配信ファイルの閲覧(農薬安全使用、病虫害防除指針 etc.)